

提供日：平成20年4月11日

担当：ジャパンフラワーセレクション実行協議会事務局
(財団法人 日本花普及センター)

連絡先：03-3664-8739



ジャパンフラワーセレクション2008-2009

「花壇苗等部門・コンテナ苗部門の冬春の審査会」を

2008年3月7日(金)に浜名湖ガーデンパークにおいて、

「切花部門・鉢物部門の審査会」を2008年3月27日(木)に

2008日本フラワー&ガーデンショウ会場(千葉市幕張メッセ)において実施しました。

| 部門名 | 審査日 | 審査対象品種 | 入賞品種数 |
|---------|---------------|--------|-------|
| 花壇苗等部門 | 2008年3月7日(金) | 9品種 | 7品種 |
| コンテナ苗部門 | | 14品種 | 10品種 |
| 切花部門 | 2008年3月27日(木) | 26品種 | 21品種 |
| 鉢物部門 | | 55品種 | 35品種 |

1. 概要

全国規模の花き新品種コンテスト「ジャパンフラワーセレクション2008-2009」の花壇苗等部門・コンテナ苗部門の冬春の審査会を3月7日(金)浜名湖ガーデンパークにおいて実施し、花壇苗等部門7品種、コンテナ苗部門10品種の入賞が決定。また、切花部門・鉢物部門の審査会を、3月27日(木)2008日本フラワー&ガーデンショウ(千葉:幕張メッセ)の会場で実施し、切花部門21品種、鉢物部門35品種の入賞が決定しました。

入賞した品種は、認定登録を行うことにより、花の業界が推奨する品種として「JFS受賞マーク」を表示して販売されることとなります。また、今年末の中央審査委員会で年間を通じて決定する「フラワー・オブ・ザ・イヤー(最優秀賞)」「ベスト・フラワー(優秀賞)」「特別賞」の対象品種としてノミネートされます。

2. 審査結果の概要

【花壇苗等部門・コンテナ苗部門】

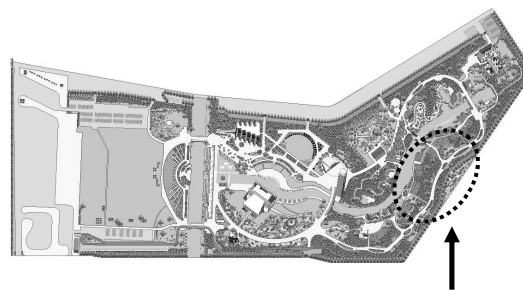
(1) 冬春の審査会の実施概要

■日時：2008年3月7日(金) 13:00~16:30

■場所：浜名湖ガーデンパーク

(現地審査) ジャパンフラワーセレクション審査用花壇

(全体協議) 体験学習館1F 会議室



JFS 審査用花壇

(2) 審査対象および結果

審査は、年4回(冬春、初夏、夏、秋)季節ごとに実施しており、今回は、花壇苗等部門及びコンテナ苗部門のうち冬春の出品品種を審査しました。

「花壇苗等部門」は、出品品種数：9品種 入賞品種数：7品種

「コンテナ苗部門」は、出品品種数：14品種 入賞品種数：10品種

出品品目は、冬から春にかけて花壇やコンテナ植栽の利用として期待されるキンギョソウ、シクラメン、カレンデュラ等です。出品品種は、早いものは9月から定期的に栽培状況を記録しており、この栽培記録データと合わせて総合的に審査しました。

(3) 審査委員

国内の花き業界を代表する学識者、花の市場関係者などが、公正な視点で専門的に審査を行いました。

| | | |
|-------|-------|----------------------|
| 審査委員長 | 大川 清 | 静岡大学 名誉教授 |
| | 福永 哲也 | 豊明花き(株) 常務取締役 |
| | 村松 文彦 | (株)村松園芸 代表取締役 |
| | 三輪 智 | 元静岡県農業試験場 場長 |
| | 岩井 弘則 | 元(財)浜松市フラワー・パーク公社 園長 |

(4) 入賞品種、受賞者

別紙1のとおり

(5) 審査委員長講評

審査会は、3月7日午後から浜名湖ガーデンパークにおいて開催された。

花壇苗等部門では、今回の出品点数は9点(キンギョソウ4点、ビオラ1点、カレンデュラ2点、ダイアンサス2点)であった。入賞は、キンギョソウ4点、ビオラ1点、カレンデュラ2点の計7点であった。

入賞になったキンギョソウについては、12~1月の生育・開花状況が優れ、高く評価されて、出品された4品種とも入賞となった。

また、ビオラ「シャングリラ オーキッド」は、匍匐性のコンパクトな草姿で、小さめの黄色のブロッチと趣のある紫色の花弁が特徴のユニークな品種である。カレンデュラは、2品種ともこの種類では珍しい小輪系で、冬春花壇苗として期待される。なお、今回出品された9点とも、春の花壇苗としての利用の可能性を調査するため継続して観察することとなった。

今回から新しく設けられたコンテナ苗部門には、14点(シクラメン11点、ビオラ1点、ダイアンサス2点)の出品があった。入賞は、シクラメン9点、ビオラ1点の計10点であった。シクラメンはコンテナ植え軒下栽培では、冬花壇の材料として利用できる品種が数多くあることが明らかになった。ビオラ1点、シクラメン1点、ダイアンサス2点は、継続審査することにした。

【切花・鉢物部門】**(1) 「切花部門・鉢物部門の審査会」の実施概要**

■日時：2008年3月27日（木）16:30～20:00

■場所：幕張メッセ 国際展示場5, 6ホール【千葉県千葉市美浜区】

(2) 審査対象および結果

バラ、キク、カーネーション、デルフィニウムなどの新品種合計81品種の出品があり、これを審査しました。

「切花部門」は、出品品種数：26品種 入賞品種数：21品種

「鉢物部門」は、出品品種数：55品種 入賞品種数：35品種

■審査委員

国内の花き業界を代表する学識者、フラワーデザイナー、花の市場関係者などが、公正な視点で専門的に審査を行ないました。

【切花部門】

審査委員長 大川 清（静岡大学 名誉教授）
土井 元章（信州大学 農学部 教授）
宍戸 純（株式会社大田花き 商品開発室 室長）
村松 文彦（フラワーデザイナー 村松園芸(株) 代表取締役）
米田 勝（フラワーデザイナー 榊花ぬすびと 代表取締役社長）

【鉢物部門】

審査委員長 長岡 求（株式会社フラワーオークションジャパン 取締役）
腰岡 政二（日本大学 生物資源科学部 教授）
三浦 俊雄（園芸家 三浦花園 代表）
金子 彰五（吹上花園 店主／(社)日本生花商協会 副会長）
畑中 孝晴（(財)日本花普及センター 理事長／日本クリスマスローズ協会 会長）

(4) 入賞品種、受賞者

別紙2のとおり

(3) 審査委員長講評**【切花部門】**

切花部門は、バラ7点、トルコギキョウ5点を含め11種類で26点の出品があった。発売後間もない品種と近く発売を予定している品種が多かったが、26の出品のうち入賞21点が示すように、生活者に推奨できる有望な品種が数多く認められた。

特に、トルコギキョウ「ロジーナラベンダー」は、魅力的なラベンダー色で、バラ咲きで人気があるロジーナに新しい花色が加わった。また、「アンバーダブルロマン」は、特殊な用途向けであるが、従来の品種より花容、草姿が改善されている点が評価された。

ユリのプチソレイユは、スカシユリとヒメユリの種間交雑で育成されたが、花色と草姿が魅力的で、用途が広い点が評価された。

輪ギクのヨミステリは、花色と花型に特色が有り、輪ギクに新しい用途を開く品種として期待される。

【鉢物部門】

鉢物部門は、55 点の出品があり、35 点を入賞とした。

入賞品種の中で、特に高く評価された品種は、ミニアマリリス「赤ダルマ」である。花色は、赤色に白目があり、花径は 10cm ほど、花茎の高さは 40cm ほど、10.5cm のビニールポット植えて出品されて超小型のアマリリスである。オランダで育成された大輪品種に見慣れた我々にとって、それは新鮮に映り、それが高評価に結びつくと判断された。また、アマリリスの育種の新たな方向性を見せたという点においても高く評価される。

次に球根ベゴニアの「ミリオンキッス エレガンス」と、その色違いである「ミリオンキッス ロマンズ」の 2 点が高く評価された。いずれも一重咲きの品種であるが、同じ花型はペンジュラ系の球根ベゴニアに以前からあったが、この二つの品種は、茎が斜上してその先がゆるく下垂する草姿を見せる新規性が評価された。また、生育が旺盛で分枝性が高く、花つきもよく、ボリューム感のあることが高評価の理由である。

また、ベゴニアでは、センパフローレンスの「フェスティバル・ブロンズリーフ・ローズ」は、その品種名が示すように銅葉系、桃色八重咲きの栄養繁殖系品種である。鮮やかな葉色と花つきの良さが評価された。そしてエラチオールベゴニアの品種「ジャンヌ・ダルク」は、大輪八重咲きでボリュームもある豪華な姿が評価された。

サイネリア「桂華®やすらぎ」は、ステライル系の選抜品種であり、一般には、木立サイネリアや宿根サイネリアと呼ばれるグループの品種である。長く伸びてよく分枝する茎と節々につく小さな葉はステライル系の特徴である。草丈が高く、高いところに咲き揃う姿は、従来のサイネリアにない姿であり、海外にもない系統の品種であることも加味され、多くの審査員から高い評価を得ることになった。加えて、今まで形質が固定され、安定的に生産・供給される品種は少なかったが、出品された鉢植えは、実に揃いが良く、高く評価された。

アジサイ「フラウ ニューカツコ」は、最近の人気品種のひとつである「フラウ カツコ」に比べて生育が旺盛になり、また、萼片もより大きく、白の覆輪もくっきり表れる。生育の良さからボリュームのある鉢花となり、ピンク色の覆輪花は明るく見えた。

今回は、パンジー、ビオラから 9 品種の出品があった。そのうち 6 品種が栄養繁殖系品種であるのも大きな特色である。いずれも個性的な品種であり、9 点中 7 点が入賞した。中でもビオラ「フェアリーテイル」とパンジー「マイファニープリンセス」が高く評価された。前者は、花径 1cm ほどのごく小輪であり、ボリュームがあり花つきもよく、栄養繁殖系ならではの揃いの良さも評価された。後者は、実生系品種であるが、そのユニークな花色が目をつけた。大量に販売されるものではないが、数百の品種が流通するパンジーにあっても特異であり、高く評価できる。

今回の特徴は、量販品目の出品が多かったことである。前記のパンジー・ビオラ 9 点に加え、キンギョソウ 4 点、カリブラコア 4 点、マーガレット 4 点、ニチニチソウ 3 点、カーネーション 3 点、インパチエンス 3 点、オステオスペルマム 3 点、ほかアザレア、ラベンダーなどである。キンギョソウ 3 点は

茎が斜上するタイプの品種であるが、分枝性が高く花つきともよく、何よりもそのボリュームに驚かされた。そして3点全部が入賞し、特に姿が整っていた、「おまつりきんぎょ ‘おれんじ」が高く評価された。ラベンダー「わたぼうし」は、ストエカス系の白花品種で、既にかんりの量が出まわり、市場でも高い評価を得ているが、審査会でも高く評価された。白色の珍しい花色である。

ニチニチソウ3点は、巨大輪の品種であり、その中から白花の「サンビーナスホワイト」が入賞した。マーガレットでは、4点中3点が入賞。既にたくさんの品種が流通しているが、「セントバースデーダーク」は、品種の完成度が高く、花色、草姿ともに素晴らしいと感じた。

その他、審査会の協議の中で、アザレアの2品種が話題に上った。いずれも従来品種に比べて花が大きく、花色から言えば、ピンク色の「越の舞姫」が高く評価されたが、「アンティークレッド」は、これまでの赤色の品種でこれほど巨大輪のものがなかったとの意見が出された。アザレアのマーケットが縮小しているという現状があるなか、海外に出すとするならば、国内よりもかなり高い評価を得られるだろう。

3. 今後の審査会開催予定

【切花・鉢物部門】

| 開催時期 | 審査会の概要 |
|-----------------------------|---|
| 2008年7月下旬 | 切花・鉢物部門 in「季節の HANA カフェ」の審査会 ■「季節の HANA カフェ」にて開催 会場:東京都丸の内 |
| 2008年11月22日(土) ~24日(月・祝) | 切花・鉢物部門 in かんさいフラワーショー2008の審査会 ■「かんさいフラワーショー2008」にて開催 |
| 審査日 11月22日(土) | 会場:花博記念公園鶴見緑地水の館ホール(予定)〈大阪市鶴見区〉 |

【花壇苗等・コンテナ苗部門】

| 開催概要 | 審査会の概要 |
|---------------|---|
| 2008年6月10日(火) | 花壇苗等部門・コンテナ苗部門 初夏審査会 会場:静岡県浜松市 浜名湖ガーデンパーク |
| 2008年8月8日(金) | 花壇苗等部門・コンテナ苗部門 夏審査会 会場:静岡県浜松市 浜名湖ガーデンパーク |
| 2008年11月7日(金) | 花壇苗等部門・コンテナ苗部門 秋審査会 会場:静岡県浜松市 浜名湖ガーデンパーク |



左記が、生活者に「これが優れた新品種です」とお知らせする JFS 受賞マークです。日本語の「花」と英語の「Flower」をかけあわせて新しい花の固有性を表現しました。

なお、審査会で選定された入賞品種には、認定登録を経て、このマークを使用した販売活動が可能となります。

世界の新品種コンテストとしては、北米を中心とした全世界的なオールアメリカセレクション、ヨーロッパを中心としたフローロ・セレクトがありますが、アジア発、日本発の新品種のコンテストは、このジャパンフラワーセレクションがはじめてです。

■お問い合わせ先

ジャパンフラワーセレクション実行協議会事務局

〒103-0004 中央区東日本橋3-6-17 山一ビル4階 (財)日本花普及センター内

TEL 03-3664-8739 FAX 03-3664-8743

E-mail: jfpc@jfpc.or.jp ★過去の入賞品種はこちらをご覧ください。 www.jf-selections.net